



イタリア歌曲集の冒頭を飾る、有名な『アマリッリ麗し』を作曲したのがジュリオ・カッチーニ（1545-1618）です。2018年で没後400年を迎えました。彼が残した曲集「新音楽（1601）」と「新音楽と新書法（1614）」、そして歌劇「エウリディーチェ」よりアリアの数々をお送りします。曲集はレチタールカンタンド（語りながら歌う）と呼ばれる音楽の表現様式により、劇的な感情表出など幅の広い音楽表現が可能となり、音楽史上、革新的な作品

と評されました。そして、その技法はその後のバロック音楽の様式に多大な影響を与えたのです。カッチーニの作品は上記の曲集しか残されてないとされていましたが、近年発見されました宗教曲も演奏します。こちらは北海道初演となります。

—オペラ『エウリディーチェ』より—
《僕は泣かない、ため息もつかない》
《小川が流れ、花々が咲いてる場所で》

—曲集『新音楽』より—
《あなたの甘いため息が》
《愛の神アモーレよ、何をためらう？》

・・・ほか

出演者



根深 夏
ソプラノ

札幌大谷短期大学音楽科卒業、北海道教育大学大学院修士課程を修了。2015年より南米民族楽器奏者・福井岳郎氏とユニットを結成。これまでに「地平線で見える夢」（ワートシンフォニー）、「ツキノホ」（福井岳郎）などのCDにコーラスとして参加。声楽を富田とき子、大友ひろ世、陣内麻友美に、古楽を濱田芳通に師事。



南 葉子
メゾソプラノ

札幌大谷短期学研究所音楽、ピアノコース修了、ハンガリー、コダーイ・ゾルターン音楽教育研究所にてアドヴァンスディプロマ取得。ショモルヤイ・パウラ、クレズリー・ヤーノシュに声楽を師事。ルネサンス・バロック音楽を濱田芳通に師事。これまでに声楽アンサンブルの演奏会に多数出演。札幌音楽家協議会会員。



濱田 芳通
音楽監督/リコーダー

バーゼル・スコラ・カントーラムに留学。2013年バロック・オペラ上演プロジェクト〈オペラ・プレスカ〉を立ち上げ、C.モンテヴェルディの3大オペラの上演、G.カッチーニの「エウリディーチェ」を本邦初演。映画「耳をすませば」などの音楽を担当し、幅広い活動を行っている。古楽アンサンブル〈アントネットロ〉主宰。



矢野 薫
チェンバロ

上野学園大学音楽学部器楽学科ハープシコード専攻卒業。フランス、シャロン・アン・シャンパーニュ国際音楽祭、目白バロック音楽祭【デビューリサイタル】等国内外の音楽祭に出演。チェンバロやオルガン、ハープでの通奏低音奏者として、活動の場を広げている。第17回山梨古楽コンクール入選。

札幌豊平教会 礼拝堂

札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15/地下鉄東豊線「学園前駅」徒歩4分

※会場に駐車場はございません。公共交通機関、又はお近くの有料駐車場をご利用下さい。

チケット/前売2,500円 当日3,000円

- 011-221-3900 (大丸プレイガイド)
- 0570-00-3871 (道新プレイガイド)
- 011-271-3355 (教文プレイガイド)
- 090-6447-4819/natsunebu86@gmail.com (根深)

託児サービス/ご希望の方は4/3(水)までにご予約ください。

■090-2693-0196/yokolina_yokolino-4545@docomo.ne.jp (南)

